



令和8年度
学校組合立牧之原小学校
学校だより



重点目標 わたしも みんなも 大切にする子 【校長 田中正信】

<LINE の利用推奨年齢って？>

6月に入り学校生活にすっかり慣れ、子供たちが友達同士で連絡を取り合う機会が増えているのではないのでしょうか。非常に便利なスマートフォンや SNS ですが、使い方を一歩間違えると、思わぬトラブルに巻き込まれる危険性も潜んでいます。そこで、ご家庭で特に意識していただきたい3つのポイントをお伝えします。

①「年齢制限(推奨年齢)」の確認

例えば、広く使われている「LINE」には、子供たちが安全に利用するための推奨年齢(12歳以上など)が設けられています。お子さんの年齢に適しているか、まずはアプリの規約を確認してみてください。その上で、使用の有無や利用方法について、ご家庭でしっかりとご判断をお願いいたします。

②「我が家の約束(ルール)」作り

「使う場所や時間帯」「個人情報や写真は載せない」など、具体的なきまりを親子で話し合って決めることが大切です。

③「保護者の管理下」にあるという意識

スマートフォンやアカウントの契約者は保護者であり、お子さんはそれを「借りて使っている」状態です。フィルタリングを設定することはもちろん、時には利用状況を一緒に確認するなど、大人の目で守ってあげてください。

インターネットの世界は、大人の社会と地続きです。お子さんが安全に、そして正しく ICT 機器を活用できるよう、ぜひこの機会にご家庭での使い方を話し合ってみてください。ご理解とご協力をお願いいたします。

(続編) 運動会キラリアンケート: 保護者の皆様からの声!
今回も少しですが、紹介します。



皆様から頂いた『キラリ』を、廊下に掲示し、子供たちに紹介しています。ご協力いただきありがとうございます!

- ・応援席前から同じ色の仲間にみんなで声援を送っていた姿が輝いていた。学年競技の綱引き、リレーでは心を合わせて頑張り、結果を聞いて、ハイタッチして喜びを分かち合う姿が素敵だなと思った。
- ・綱引きですが、1回負けたチームが次の準備をしていた時に「もっと姿勢を低くやろう」などみんなで声かけあっていて諦めない姿が素敵だった。みんなで声かけをできるのもいい雰囲気だと思いました。
- ・4色チームになったことで、チームの人数が少なくなり団結力が高まっていたように見えました。色別リレーでは学年がちがっていても名前でも応援したりして学年を超えた仲の良さが伝わってきました。
- ・自分の競技が終わっても、同じチームの子が出ていると全力で応援する姿はとても素晴らしかった。悔しくて泣いている子、その子の肩に手を置いてなだめている子、嬉しくて友達とハイタッチしている子。それぞれこの日の為に練習してきたことが繋がっているんだと感動しました。みんながみんなキラリと光り、眩しかったです。
- ・玉入れの手伝いをしたり、しょうがい物リレーの手伝いをしたりしていて大きくなったなと思いました。
- ・ラストの協力平はお手伝いの中学生達と部活を終えて運動会を見に来ていた娘も急遽参加しての演目となり、中学生になってしまった長女と在校生の次女の絶対にあり得ないと思っていた共演が見られてとっても嬉しかったです!
- ・一年生は初めての運動会で我が子も緊張しながらも競技を全力で取り組んでいる姿に成長を感じました。
- ・自分の競技でもない時や走り終わった後も、一生懸命にお友達を応援する姿がとてもキラリと輝いて見えました。

(左写真) 保護者の皆様からの『運動会キラリ』を読む6年生の子供たちです!

